

こすど地区公民館報

発行 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟県新潟市秋葉区小須戸117番地
TEL (0250) 38-2234
FAX (0250) 38-3041
編集 公民館報編集委員会

写真で振り返る 2009年の文化祭

今年も十一月初旬を中心に文化祭「市民展」と「芸能祭」が開催されました。世間では長引く不況の波や新型インフルエンザ感染の心配、そして利用者の高齢化など数々の不安要素がありました。しかし、一年に一回の「文化祭」の成功を願う参加者が一丸となつて力を合わせて、今までに無いほどスムーズに終了することができました。作品や出演の優劣を競うのではなく、それらを通して多くの人が理解しあい、仲間を増やして小須戸の文化のすそ野を広げていくことが、この地域の文化活動を高めることにつながっていくと思っております。



⑤



③



①



②

市民展

- ①「杉門づくり」小須戸の文化祭準備は杉門づくり（高さ3メートル）から始まります。平成16年の「閉町記念・町民展」から毎年、つくり続けています。
- ②「小須戸縞のヤマギモンを着て記念撮影」今から、60年前に実際に農作業の時に来ていたヤマギモンを着てカメラに収まりました。「似合うでしょう」
- ③「市民展の会場」ズラリと並ぶ力作の数々。（写真は3階ホールのメイン会場）ちなみに今年のお品作品は30部門500点以上の作品が展示されました。
- ④「ちょこっと体験コーナー」正月飾りの切り絵を懸命に作っているところです。

芸能祭

- ⑤「保育園児の踊り」元気いっばいな園児たちの踊りを見て「元気をもらった」という声を多く聞きました。
- ⑥「鎌倉神楽舞」⑦「小須戸小唄」⑧「鈴踊り」今年の芸能祭は、地元の伝統芸能の出演が多く、地域に残る宝物を再発見しました。他に今年も矢代田小学校児童による小須戸甚句（樽囃子）の出演もあり盛り上がりました。



④



⑥



⑦



⑧

輝く新年を迎えられる行事紹介



入場料 無料
・その他
・チアとナポリ
・「巡礼の年ヴェネ」
・リスト作曲
・「愛の悲しみ」
・クライスラー作曲
・ヴァイオリン
・サラサーテ作曲
・「チゴイネルワイゼン」
・ヴァイオリン

外国でも活躍している小須戸出身の加藤姉妹によるコンサートを地元で開催いたします。皆さんどうぞ、ご期待ください。
日時 一月十日(日) 午後二時～三時半
会場 小須戸地区公民館(三階・ホール)
出演 加藤礼子(ヴァイオリン) 写真・左
加藤容子(ピアノ) 写真・右

「ニューイヤークンサート」 「ピアノとヴァイオリン」 「姉妹デュオリサイタル」

「こ来光」を仰ぎませんか 元旦護摩堂山ハイキング

来年のご健勝と、ご多幸を祈念するため、ぜひご参加ください。
日時 平成二十二年一月一日(元旦)
午前五時半に公民館前に集合・出発
参加費 八百円(バス代、保険料込み)
定員 二十五名
主催 小須戸山岳キャンプ協会
申込み・問合せ 渡辺欣一宅 ☎38-2417

参加者募集!! 木版画わくわくクラブ

十二月から木版画のクラブが生まれます。興味や関心のある方は、どうぞお気軽にお申し込みください。
~~~~~  
木版画の世界は手軽に楽しめる表現方法です。特に指先の運動が脳を元気にしてくれるようです。  
みんなで楽しく、こつこつと、作品づくりにちよつと汗をかいてみませんか。  
活動日 毎月第二・第四火曜日の月二回  
時間 午前九時半～正午  
会場 小須戸地区公民館  
指導者 皆川徳志(版画家)  
・受講料と材料代は、少額費負担していただきます。  
申込み・問合せ 十二月四日(金)までに、地区公民館へお申込みください。 ☎38-2234  
※参加者の初顔合わせは十二月八日(火)の午前九時半に公民館の2階・学習室で行います。  
※この活動は公民館の主催ではありません。



### 「わたしの住むまち」絵のコンクール入選作品の紹介



どこまでも続く線路と町の風景を描きたかった。

#### 最優秀賞

「どいもでも」  
太田 茉優さん  
(小須戸中学校三年)

#### 金賞

「山から見える小須戸」  
川瀬 綾香さん  
(小須戸中学校二年)



わたしは、奥の山を意識して描きました。中心の弥彦山を大きくインパクトのあるように描けてよかったです。

◎平成二十二年 公民館定期利用説明会  
日時 十一月二十七日(金) 午後七時半  
会場 小須戸地区公民館

◎年末年始休館日のお知らせ  
十二月二十九日(火)から  
平成二十二年 一月三日(日)まで

### 公民館からのお知らせ

矢代田保育園子育て支援センター(住所・秋葉区矢代田一三番地)では、保育園・幼稚園に入園していないお子さん対象にお家の方と



ホールプール、楽しいね~♡

一緒に遊んだり、情報交換の場としてオープンしました。おじいちゃんおばあちゃんもお孫さんと一緒に来てね! 利用時間は、月々金曜日は(毎週木曜日の午前は除く)午前九時~十一時半。午後一時半~三時半。土曜日は午前九時~十一時半です。月・水曜日は、一歳半以上。火・金曜日は0歳~一歳半です。木曜日午後、土曜日午前はオプンスペースです。たんたん(靴)はいて「たんたん」に遊びに来てね! 問い合わせ先 同センターの電話番号は、38-5977です。

## はじめまして「だんだん」です!

### 「実践!! 楽しんでエコ・コラム」(その5)

#### ◆エコドライブ

鳩山新総理大臣に代わった直後、「日本はCO2を25%大幅削減」と国際公約しました。つまり化石燃料(石油・石炭等)の消費を大きく減らす必要があります。

新潟市のCO2排出全体の27%が運輸部門で、その中の約三分の二が自動車から排出されています。新潟市は他の政令市に比べダントツに排出量が多いのです。

加えて石油の埋蔵量はあと40年で枯渇してしまうとも言われています。

だから、今、自家用車を考え直す事が急務なのです。どうしても自家用車に乗らなければならぬ時、次の「エコドライブ」の方法」を実行しましょう。

- 「やさしい発進を」  
ふんわりアクセル、穏やかに発進しましょう。
- 「早めのアクセルオフ」  
信号が変わると判断できたらアクセルを離しエンジンブレーキを離します。
- 「スムーズな運転」  
余裕を持った運転で急加減速がなくなります。
- 「エンジンをかけたらずぐ出発」  
今のガソリン乗用車は暖機不要です。
- 「無用なアイドリングは止め」  
六、「エアコン使用は控えめに」  
七、「不要な荷物は積まない」  
八、「タイヤの空気圧はこまめにチェック」  
九、「出かける前に計画・準備」  
十、「違法駐車は止めましょう」

これで燃費が大幅改善、CO2も家計も大助かり。

#### 催し物ご案内

◆問い合わせは 小須戸地区公民館まで ☎38-22234

初心者スリッパ卓球教室(第二期生の募集について)  
「笑いと健康づくり」が同時に体感できるスリッパ卓球。冬場の運動不足の解消に気楽に参加してみませんか。現在、同教室では小学生から八十代の方まで幅広い年齢層が楽しく参加しています。(見学も可)  
日時：十二月一日(火)から翌年三月十六日(火)までの、毎月第一、第三火曜日。午後七時半~九時まで。  
会場 小須戸体育館  
対象 卓球が初めての方でも歓迎いたします。  
持ち物 内履き、飲み物  
申込み・問い合わせ 小須戸地区公民館 ☎38-22234

新津南高等学校開放講座(受講生募集)  
現役の高校教師が、やさしく丁寧に教えます。講座は約半分を終了しましたが、途中からの参加もできます。お気軽にどうぞ。  
◎演題 仮名の書(実技)  
日時 十二月五日(土) 午前10時~12時  
会場 新津南高等学校  
◎演題 佐瀨の水鳥を見に行こう  
日時 十二月十二日(土) 午後二時~四時  
会場 小須戸地区公民館(集合・解散)  
申込み・問い合わせ 小須戸地区公民館 ☎38-22234

おはなしのせかいへ  
日時 十二月十九日(土) 午前10時半~11時  
会場 小須戸地区公民館  
読み手 おはなしぼけっと  
参加費 無料  
主催 小須戸地区公民館

### 「入選」おめでとうおめでとうございます

- ◆最優秀賞 太田茉優 (小須戸中・三年)
- ◆金賞 川瀬綾香 (小須戸中・二年)
- ◆銀賞 森田幸輔 (小須戸中・二年)
- ◆銅賞 風間 葵 (小須戸中・一年)
- ◆入選 土橋りか (小須戸中・一年)

### 「親子で喧嘩太鼓」



内宮 貞志 さん (小須戸)

小須戸喧嘩太鼓の仲間に入っは、五年がたちました。結婚を機に、小須戸に帰ってきて、家業をつぎ、子供が生まれて久しく見ていなかった小須戸祭り と商工祭へ行きました。何十年ぶりにきく太鼓の音が、腹に響いて鳥肌が立つ。「太鼓ってスゴイ!!」何だか、涙が出そうになりました。それから数年、ウデコキ青年有志でウデコキ祭りに参加した時、「太鼓の音が聞きたいなー」「盆踊り、やらないかなー」時を同じくして、長女が「太鼓をはたきたい」と言いだしました。知人から連絡をとってもらい、太鼓の練習を見に行きました。なんやかんやで、その時、一年生だった長女も、もう五年生。あとどれくらい時間、いっしょに遊んでもらえるかなーと指折り数える今日、このごろです。

### シリーズ 「今、子どもたちは」(157)

#### 安全・安心を地域で守る 子どもセーフティスタッフ

セーフティ・スタッフとは何をやるのか?知らない人も多いでしょうが、新潟市教育委員会が「地域の子どもは地域で守る」を目的として実施している取り組みです。児童生徒の登下校の時間帯を中心に通学路をパトロールするボランティアです。校区のセーフティ・スタッフとして、朝散歩ついでに、通学路で子どもたちと、交流を楽しんでいます。今では、子どもたちから「おはようございます」と声をかけてくれるようになります。又、学校行事等も教えてくれます。

先日、親水公園で行われた、全校マラソン記録会では、子どもたちに一杯声援を送りました。「通学路のおばさん」と声をかけられると、嬉しくなります。これからも、オレンジのジャンパーで、子どもたちを見守って行きたいと思っています。(風間ヨエ)



秋の夕暮に光るオレンジ色のジャンパーと地域の目

### 文芸欄

|                                                                        |                                  |                                                                     |                |                                                                                                                                                                                                             |
|------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 川 (題：一石二鳥)                                                             | 柳                                | 短歌                                                                  | 俳句             | 句                                                                                                                                                                                                           |
| 良い嫁と言えば伴も誉められる<br>才媛の嫁が来てから運が向き<br>ラジオ聞きニュースお笑い知仕事<br>ジョギングを延ばし妖精にも逢えた | 保科 志枝<br>小林みのる<br>平山あきら<br>渡辺 信子 | 腰をあげ自転車こぎゆく少女等の<br>吾を追いこすしなやかな足<br>船の宴果ててデッキではほろ酔えば<br>甲板ボーイ笑みて手を延ぶ | 大森美恵子<br>久保みね子 | 杉の秀に鳴一声の日和かな<br>関根 紀男<br>嬰生る金木犀の香りけり<br>井本マツ子<br>四人乗りベビーカー二台赤のまま<br>須藤忠美子<br>遅れ咲く花一つ置き蓮は実<br>間野 えり<br>コンバイン明日刈る稲と泊りけり<br>五十嵐香月<br>コスモスやうららこすどの始発バス<br>中野 太浪<br>芋の葉に露新しく正座せり<br>熊倉ひろむ<br>立秋の大海原に只祈る<br>佐久間久子 |